

- ◆ 配付資料をダウンロードしてください。また、各学校の「我が校の学ぶ力向上策」「中間報告」を御準備ください。
- ◆ 配信する動画については、指定した順に視聴してください。
- ◆ 研修後のリフレクションシートについては、配付資料にあるQRコードを読み取り、お手持ちのスマートフォンやパソコン等で回答してください。

令和3年度 滋賀県 小・中学校  
学ぶ力向上推進リーダー  
第2回 連絡協議会  
オンデマンド研修

- 学ぶ力向上についての座談会
- 学ぶ力向上に向けた講義
- 来年度の取組についての説明

# 学ぶ力向上についての座談会

---

---

テーマ

「今年度の振り返りから

来年度の『学ぶ力向上』について考える」

参加者

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

指導主事 青木 明弘

指導主事 幸田 圭子

指導主事 井関 香織

指導主事 森井 貴士

Memo

# 「学ぶ力向上に向けた取組を

## 進めるための実践事例・ポイント」

大阪教育大学

教授 木原 俊行 先生

Memo

# 第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン(後期)

令和4年度(2022年度)

## 取組の重点

### 第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン(4年目)

子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図り、3つの視点において、次の内容を重点として「学ぶ力」向上の取組を進めます。今年度は特に、各学校等において3つの視点からの取組の焦点化を図り、全ての教職員による「共通理解・共通実践」に重点を置きます。

#### 視点1 学びを実感できる 授業づくり



- 子ども一人ひとりの学びの状況に応じた基礎的・基本的な知識・技能の指導の充実
- ◆ 「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの推進・充実

★ICTの効果的な活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実

POINT

- 資質・能力の育成に向けた「教科等の指導力点」を意識する。
- 校内研究（主題、内容等）に「読み解く力」を関連付けて授業改善を進める。
- 学習評価の充実を図り、子ども一人ひとりの学びの状況を的確に把握し、「わかった」「できた」につながる「個別最適な学び」を進める。

学ぶ意欲を引き出す

#### 視点2 学習集団づくり

生徒指導の3機能を生かした学習集団の基盤づくりと授業づくりの充実

- 自己存在感を高める。
- 自己決定の場をつくる。
- 共感的人間関係を育成する。

POINT

生徒指導の3機能

- 学習集団づくりと「協働的な学び」の関連を図る。

#### 視点3 子どものために一丸となって取り組む 学校づくり



学校全体で組織的・継続的に実践する「学ぶ力」向上の取組の充実

- 管理職のリーダーシップのもと、学ぶ力向上推進リーダー等を中心に取組の重点を焦点化し、全ての教職員による「共通理解・共通実践」を図る。
- 取組について、推進する組織を確立し、検証・改善する手立てを具体化し、実践について定期的に確認する。
- 計画的・継続的にOJ T研修等を実施し、実務を振り返りながら教職員一人ひとりの自発的な成長を支援する。

POINT

滋賀県教育委員会事務局 幼小中教育課

## 【第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン】

### 視点1

学びを実感できる 授業づくり

### 視点2

学ぶ意欲を引き出す 学習集団づくり

### 視点3

子どものために一丸となって取り組む 学校づくり

市町の「学ぶ力向上策」  
各校の「我が校の学ぶ力向上策」

3つの視点に基づいて  
県全体が一体となった取組

# 第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン(後期)

## 第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン(4年目)

子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図り、3つの視点において、次の内容を重点として「学ぶ力」向上の取組を進めます。今年度は特に、各学校等において3つの視点からの取組の焦点化を図り、全ての教職員による「共通理解・共通実践」に重点を置きます。

### 視点1

学びを実感できる 授業づくり



- 子ども一人ひとりの学びの状況に応じた基礎的・基本的な知識・技能の指導の充実
- ◆ 「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの推進・充実

★ICTの効果的な活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実

POINT

- 資質・能力の育成に向けた「教科等の指導力点」を意識する。
- 校内研究（主題、内容等）に「読み解く力」を関連付けて授業改善を進める。
- 学習評価の充実を図り、子ども一人ひとりの学びの状況を的確に把握し、「わかった」「できた」につながる「個別最適な学び」を進める。

学ぶ意欲を引き出す

## 視点2 学習集団づくり

生徒指導の3機能を生かした  
学習集団の基盤づくりと  
授業づくりの充実

- 自己存在感を高める。
- 自己決定の場をつくる。
- 共感的人間関係を育成する。

**POINT**  
生徒指導の  
3機能

- 学習集団づくりと「協働的な学び」の  
関連を図る。

## 視点3 子どものために一丸となって取り組む 学校づくり



学校全体で組織的・継続的に実践する「学ぶ力」向上の取組の充実

- 管理職のリーダーシップのもと、学ぶ力向上推進リーダー等を  
中心に取組の重点を焦点化し、全ての教職員による「共通理解・共通実践」  
を図る。
- 取組について、推進する組織を確立し、検証・改善する手立てを具体化し、  
実践について定期的に確認する。
- 計画的・継続的にOJT研修等を実施し、実務を振り返りながら教職員一人  
ひとりの自発的な成長を支援する。

**POINT**

## 我が校の学ぶ力向上策

## 組織的な取組に向けて

様式1-2

〇〇小中学校

**令和4年度 我が校の学ぶ力向上策**

【市町 目標】  
○

【学校 目標】  
○

【現状と課題】  
○視点1  
○視点2  
○視点3

取組事項および評価指標  
※評価：達成状況 90%以上-A 70%以上90%未満-B 70%未満-C 時期→1回目:9月 2回目:2月

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○	.		
	.		
	.		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○	.		
	.		
	.		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○	.		
	.		
	.		

○「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

今年度の取組の成果と課題

**自校化**

自校の課題

目指す子どもの姿

焦点化した  
具体的な取組

今年度の取組の  
振り返り

今年度の取組の振り返り

こんな取組をした！  
こんな工夫をした！

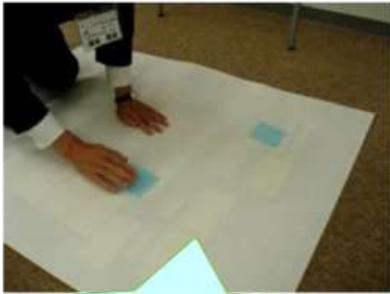
各色の付箋紙

□横にして横書き（のりしろ左側）

□ペンで、大きな字で（2行程度）

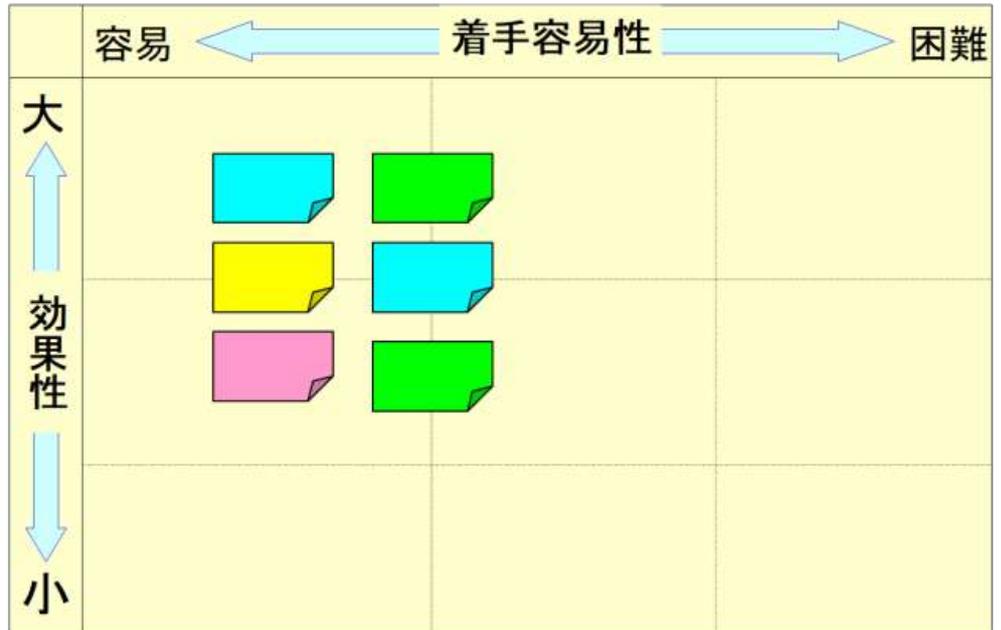
□1枚に1つの実践事項を（要点）

## グループで実践事項を出し合う



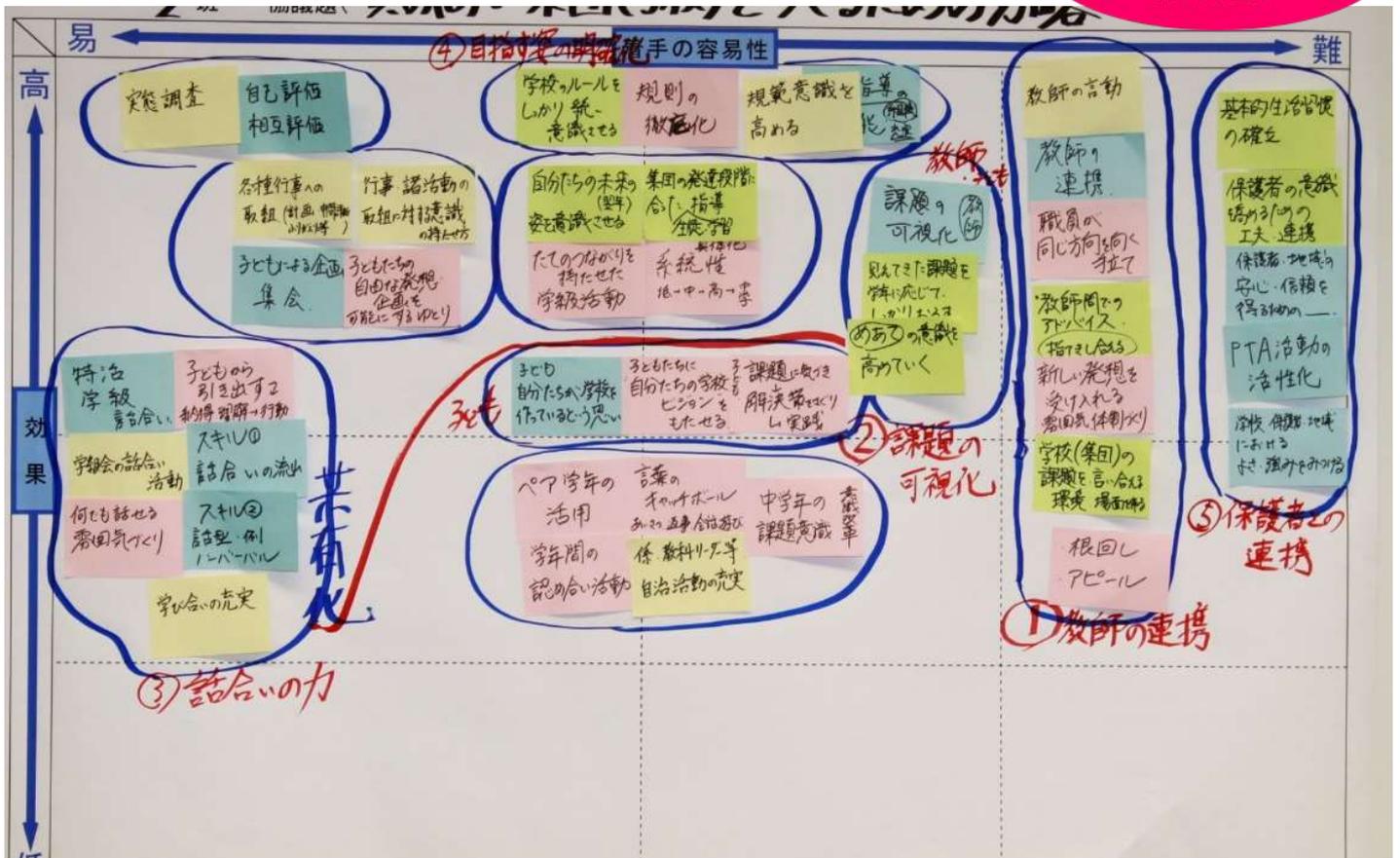
コメントを加えながら貼る

似ている場合はグループ化



全員で来年度取り組むことを具体的に決める。

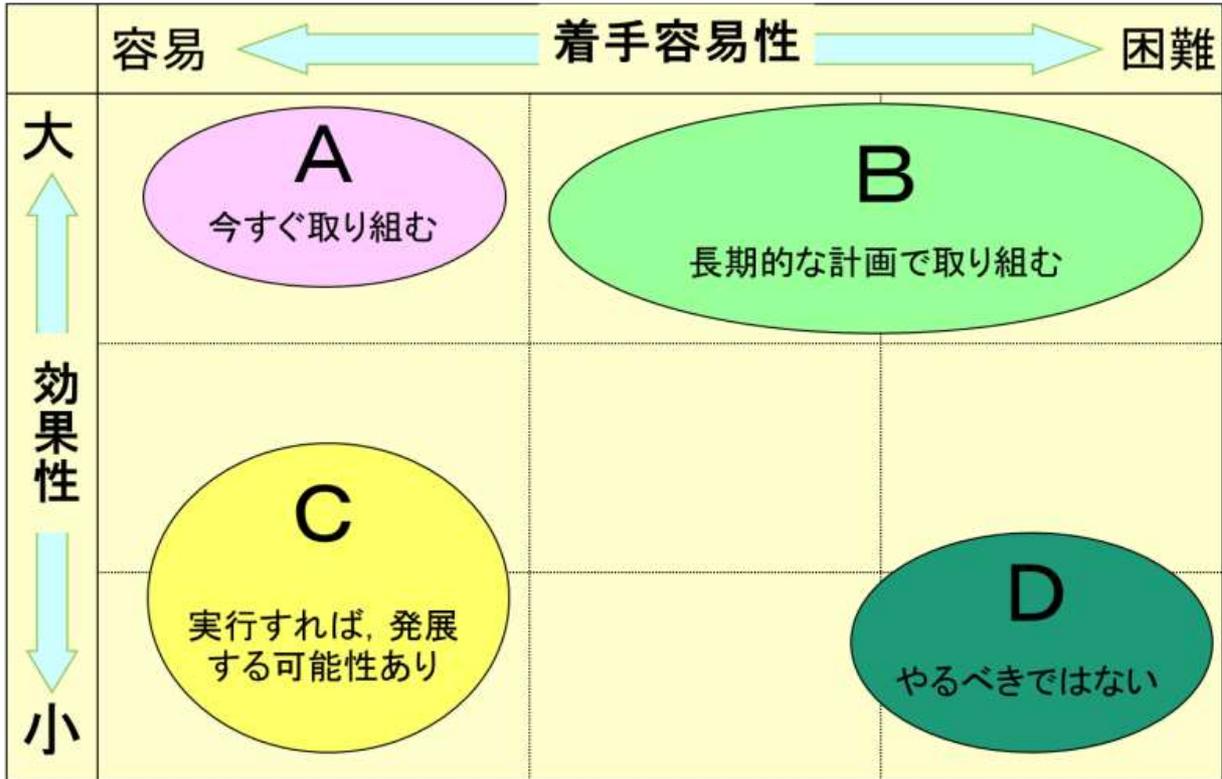
今年度の取組の振り返り



全員で来年度取り組むことを具体的に決める。

今年度の取組の振り返り

## 実践事項の焦点化・重点化



実施状況の評価と確認 (PDCA)



「学ぶ力向上策」の実効性を高める

### チェック!

- ① 全教員で共通理解されているか?
- ② 取組が焦点化されているか?  
(各視点1~2項目)
- ③ 校内研究と連動しているか?
- ④ 取組と整合した指標が設定されているか?
- ⑤ 全教員で共通実践されているか?

**ポイントは…共通理解・共通実践!**

様式 1-2

令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

〇〇小中学校

【市町 目標】  
○

【学校 目標】  
○

【現状と課題】  
○視点1  
○視点2  
○視点3

取組事項および評価指標  
※評価:【達成状況 90%以上-A 70%以上90%未満-B 70%未満-C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

○「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

今年度の取組の成果と課題

**自校化**

様式 1-2  
 ○○小中学校  
**令和4年度 我が校の学ぶ力向上策**

【市町 目標】  
○

【学校 目標】  
○

【現状と課題】  
○視点1  
○視点2  
○視点3

取組事項および評価指標  
※評価 達成状況 90%以上-A 70%以上90%未満-B 70%未満-C 時期→1回目:9月 2回目:12月

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

○「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

今年度の取組の成果と課題

市町教育委員会の目標を記入する。

各視点についての現状と課題を記入する。

市町教育委員会の目標と関連させて、学校の状況に応じた目標を設定する。

**自校化**

様式 1-2  
 ○○小中学校  
**令和4年度 我が校の学ぶ力向上策**

【市町 目標】  
○

【学校 目標】  
○

【現状と課題】  
○視点1  
○視点2  
○視点3

取組事項および評価指標  
※評価 達成状況 90%以上-A 70%以上90%未満-B 70%未満-C 時期→1回目:9月 2回目:12月

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

○「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

今年度の取組の成果と課題

「取組事項」は、学校の状況に応じて、重点として取り組むものを絞って記入する。**（各視点1項目 ※多くても2項目まで）**

3つの視点のうち、**特に取組を充実させる視点の取組事項の枠を太く**する。

「評価指標」は、**各視点の取組事項について適切に評価できる指標**を設定する。

各視点に3つまで記載できるよう枠があるが、全て記入する必要はない。

評価指標は**児童生徒へのアンケートや教員アンケート、保護者アンケート**などを活用して**多角的に評価**できるよう設定する。

**自校化**

様式 1-2

○○小中学校

**令和4年度 我が校の学ぶ力向上策**

【市町 目標】  
○

【学校 目標】  
○

【現状と課題】  
○視点1  
○視点2  
○視点3

取組事項および評価指標  
※評価【達成状況 90%以上-A 70%以上90%未満-B 70%未満-C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○			

○「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

今年度の取組の成果と課題

【例】

4月の職員会議において学校長が教育目標や学校経営等について伝える機会に、学ぶ力向上推進リーダーが「学ぶ力向上策」について説明するとともに、内容について協議する。

学校だよりで保護者や地域に発信する。 など

## 学ぶ力向上策の実効性を高める

## 共通理解から共通実践へ

### 共通実践シート(記入例①)

**自分化**

【学ぶ力向上策】共通実践シート(例)

**焦点化した取組**

【視点1】学びを実感できる授業づくり  
○授業の終わりの10分間の充実

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり  
○自己有用感を高めるための手立ての工夫

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり  
○小さなPDCAサイクルによる「焦点化した取組」の実践

具体的な取組と評価									
視点	具体的な取組	1	2	3	4	1	2	3	4
1	子どもから出た言葉でまとめる。								
2	「一人一役」で当番活動を運ぶ。								
3	校内研究・研修で共通実践シートの記入と共有の時間をとる。								

**成果・課題**

① 「学ぶ力向上策」に記載している取組を記入する。(各視点1～2項目)

② 上記の「焦点化した取組」について、自分の学級、自分の教科等でどのような実践ができるかを考え、具体的な取組として記載する。(この例では、視点1、視点2については教員一人ひとりが異なる取組を設定し、視点3については、全員が同じ取組を設定している。)

共通実践シート(記入例②)

自分化

【学ぶ力向上策】共通実践シート(例)

焦点化した取組	
【視点1】学びを実感できる授業づくり ○授業の終わりの10分間の充実	
【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり ○自己有用感を高めるための手立ての工夫	
【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり ○小さなPDCAサイクルによる「焦点化した取組」の実践	

具体的な取組と評価		5/12	6/2	6/12	6/22	6/30
視点	具体的な取組					
1	子どもから出た言葉でまとめる。	○				
2	「一人一役」で当番活動を進める。	△				
3	校内研究・研修で共通実践シートの記入と共有の時間をとる。	○				
1	振り返りの視点を明確に示す。					

成果・課題	
5/12	①まとめを引き出す発問を工夫することで、子どもの言葉でまとめることができた。振り返りが授業の感想になっているので、視点を明確に示して振り返りの質を高める。 ②一人一役は決めたが、活動している子と活動していない子がいる。活動できた子を褒め、活動内容を学習全体で共有するなどして活動できる子を伸ばしていく。 ③引き続き、校内研究・研修の最初の10分間でシートへの記入と学年部での共有を行う。

③具体的な取組について、自己評価する。

④達成できた視点については、新たな取組を設定する。

⑤成果や課題を言葉で記入しておく。

共通実践シート(記入例③)

自分化

【学ぶ力向上策】共通実践シート(例)

焦点化した取組	
【視点1】学びを実感できる授業づくり ○授業の終わりの10分間の充実	
【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり ○自己有用感を高めるための手立ての工夫	
【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり ○小さなPDCAサイクルによる「焦点化した取組」の実践	

具体的な取組と評価		5/12	6/2	6/12	6/22	6/30
視点	具体的な取組					
1	子どもから出た言葉でまとめる。	○	○			
2	「一人一役」で当番活動を進める。	△	○			
3	校内研究・研修で共通実践シートの記入と共有の時間をとる。	○	○			
1	振り返りの視点を明確に示す。			△		
2	当番活動の中間振り返りを通して、できたことを価値づける。					

成果・課題	
5/12	①まとめを引き出す発問を工夫することで、子どもの言葉でまとめることができた。振り返りが授業の感想になっているので、視点を明確に示して振り返りの質を高める。 ②一人一役は決めたが、活動している子と活動していない子がいる。活動できた子を褒め、活動内容を学習全体で共有するなどして活動できる子を伸ばしていく。 ③引き続き、校内研究・研修の最初の10分間でシートへの記入と学年部での共有を行う。
6/2	①振り返りの視点を示していない時があったので、振り返りの視点を学習に提示するようにする。 ②ほとんどの子が当番活動に取り組んでいるので、中間の振り返りを行い、教師のコメントを記入することでできたことを価値づける。

⑥前回達成した項目についても、引き続き評価を行っていく。



共通の取組を振り返るシートを使って、毎週水曜日の放課後に学年間で5分間の交流をしています。

こまめな  
検証・改善  
(短時間でも)

# 読み解く力の視点を踏まえた校内研究の推進

学ぶ力向上

第Ⅱ期学ぶ力向上滋賀プラン

今年度3年目です。

## 「読み解く力」を高めて、子どもたちの「わかった」「できた」を実現！

「読み解く力」とは・・・  
文章や図、友達とのやりとりなどから、様々な情報を読み解き理解する力、理解したことをもとに自分の考えを構築する力のことです。教科等の学習や普段の生活、本や新聞を読むことなどを通じて「読み解く力」を高めることができます。

滋賀県教育委員会では、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校において、子どもたちの「読み解く力」を高め、「わかった」「できた」を実現する授業づくりに取り組んでいます。今年度は、さらにICTを効果的に活用した授業を進めています。また、基礎的・基本的な学習内容の定着や、家庭学習を充実させることを目指しています。

### 小学校（第2学年国語科） 登場人物の気持ちや行動を想像して読む学習

**学習の目的を確認**

これが大切

学習の目的を確認

体育学習発表会で世話になった6年生に、お礼の気持ちをこめて、「ペーパーサート」（紙の人形劇）で物語を発表します。

言葉や文から登場人物の気持ちなど、想像したことを付け加えて音読しています。

一人で考えたり、話し合いたい相手を見つけ、意見を交流したりしながら想像を広げていきます。

教科書や本で言葉をていねいに確かめながら、何度も音読することで、物語に対する理解を深めます。

〇〇さんの想像したことがよくわかったよ。私ももう1回考えてみよう。

次の時間は動画を見直して、もっと、工夫しよう。

発表の練習の様子をタブレットで撮影します。音読の変化や成長を、子どもたち自身が実感します。

「わかった」を実感

「わかった」を実感

学習を進めて、「できた」の実感へ

### 中学校（第1学年国語科） 場面展開や登場人物の関係などを理解して読む学習

**学習の目的を確認**

これが大切

学習の目的を確認

「竹取物語」を読み、自分の選んだイチオシの登場人物について紹介します。友達との交流を通して、自分の考えを確かめます。

人物を紹介するために必要な情報を文章から読み取ります。

登場人物の石上磨足（いそのかみのまろたり）には〇〇な一面もあるんだ！

お互いの考えをタブレットで共有し、自分の考えを説明したり、友達の考えやその理由を聞いたりします。

「わかった」を実感

よりよい紹介にするために、友達の見解を参考にしながら、もう一度まとめます。

この内容を加えることで自分の考えが確かになった！

# 読み解く力の視点を踏まえた校内研究の推進

「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくり

令和3年度「読み解く力」ブロック別授業研究会  
**公開授業レポート**

令和3年度は、「再構築」している姿に着目し、授業実践を行いました。

A 主に文章や図、グラフから読み解く力を活用する力	① 自分なりに解決し、知識を再構築する	② 再構築	B 主に他者とのやりとりから読み解く力を活用する力
	③ 情報を比較し、関連付けて整理する	④ 分析・整理	
	⑤ 必要な情報を確かに取り出す	⑥ 発見・整理	

**目的意識**

上の図のように「読み解く力」を、AとBの二つの側面と①から⑥の三つのプロセスで整理しています。児童生徒が、教科等の学習において必要な情報を取り出し、それを根拠にして考えを構築し、対話することで考えを磨き、再構築につなげていくことが、各教科等を目指す資質・能力を確かに育成することにつながります。

令和4年1月  
滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

令和3年度

プロセス③「再構築」に着目した研究

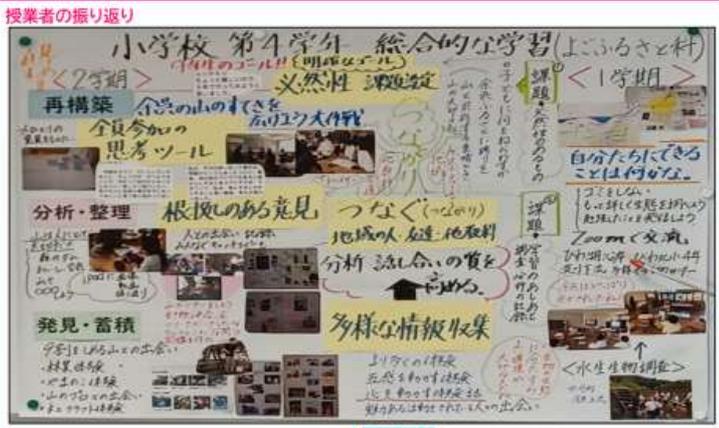
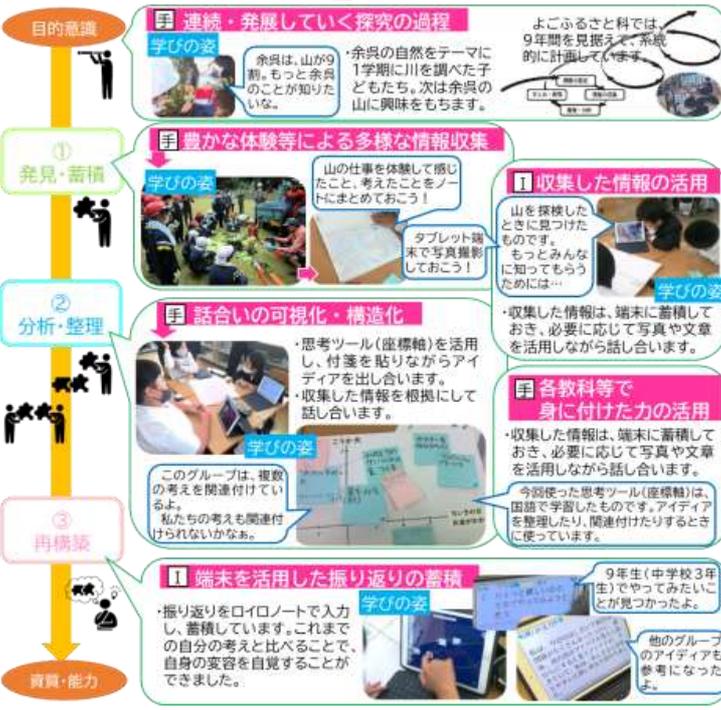
- よりよく「再構築」している姿の明確化
- ICTを効果的に活用した授業実践
- 「再構築」している子どもの見取り



**【単元名】** しずくのゆくえ

**【単元で育成する主な資質・能力】**  
 余呉の自然環境の特徴やよさ、それを支える人々の努力や工夫、自然と共存していくことの素晴らしさについて理解し、自然環境の特徴を生かしながら、自然を生かした楽しみを見出したり、環境を守っていくために自分たちは何ができるかを考えるとともに、余呉の自然環境とのつながりを意識しながら行動したり、生活したりできるようにする。

**【目指す「再構築」している児童生徒の姿】**  
 ・「余呉の山のすてきなすてきなためにどんなことをしていくといいか」について、友だちと考えを比較したり関連付けたりしながら整理することを通して、理由や根拠を明らかにし、自分の考えを深め、確かなものになっている姿。  
 ・体験活動等、単元の学びを自分の生活につなげ、単元を通して学びの変容を自覚する姿。  
 ・各教科で学んだことを単元を通して自在に活用したり、使いこなしたりしながら探究する姿。



**授業者の振り返り**

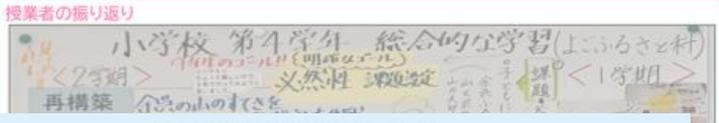
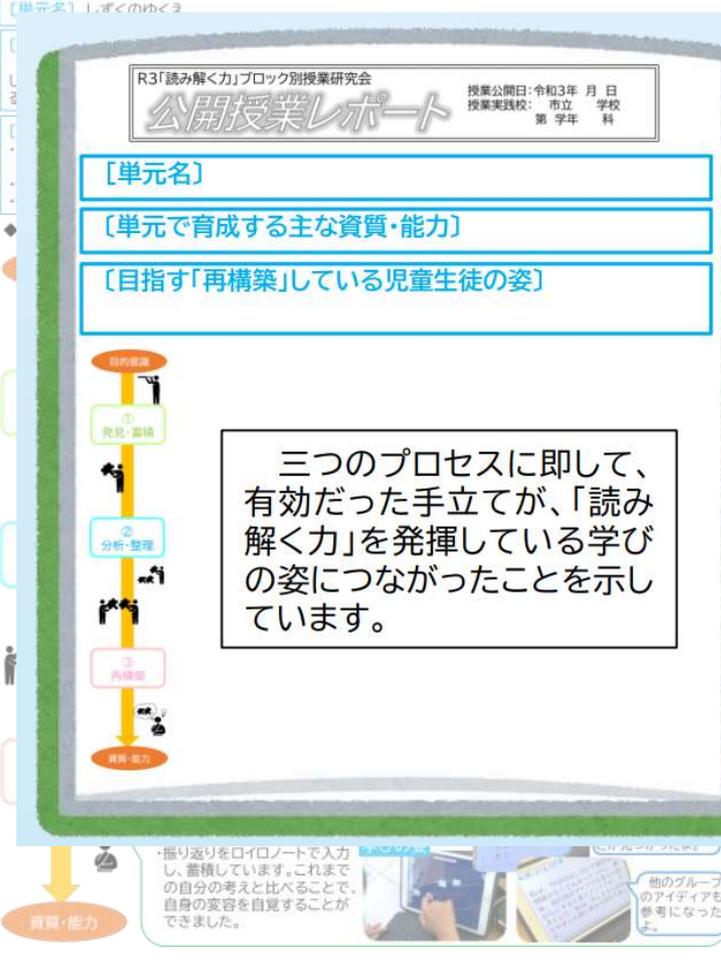
よこふるさと科では、9年間を通して余呉の魅力を追いつつ住み続けたい余呉のまちをつくりあげていきます。特に、次の三つの視点を大切にしています。

**1学期は** 余呉の川の魅力に迫る！  
 ・1学期は、余呉川の水生生物調査をしました。探究を経て見いだしたことを踏まえ、自分たちでできることは何かを話し合いましたが、具体的にないものが多く、根拠も曖昧でした。  
 ・学習の足跡として、体験や調査分析の記録が十分でなく、事実に基づいて考えることが課題でした。

**2学期は** 余呉の山の魅力に迫る！(やまご事業を活用)  
 ・2学期は、ねらいに基づき明確なゴールを設定し、必然性のある課題を設定しました。  
 ・心を動かす豊かな体験等による多様な情報収集と、根拠を明確にした考えの形成、全員参加の思考ツールを用いた交流が、よりよい再構築につながったと思います。明確な根拠に基づいた具体的なアイデアや、自分たちの生活に関連したアイデアが生まれました。  
 ・本単元では、学びを充実させるために、次の三つの「つなぐ(つながり)」を大切にしました。  
 ①多様な場面で地域の人とつながる  
 ②交流等を通して、友達と考えをつなぐ  
 ③他教科等と総合を意図的・計画的につなぐ  
 (理科や社会科の学習に関連させた単元計画、国語科で学習した思考ツールの活用等)

**「読み解く力」を高め、発揮する授業づくりのポイント**

・教科書がない総合的な学習の時間は、各学校で創意工夫するとともに、明確な目標(育成を目指す資質・能力)を設定し、内容を計画する必要があります。よこふるさと科では、豊かな地域教材を活用しながら、小中9年間の学びを見据えて計画されています。大切にしている三つの視点は、三つの資質・能力とも大きく重なります。  
 ・本授業では、授業者が「再構築」について、具体的な児童の姿でイメージされていました。そして、その姿を実現するためには、どのような分析・整理が必要か、どこからどのように発見・蓄積する必要があるかといったように、再構築から逆算して単元を設計されたことで、学習活動が資質・能力の育成につながりました。  
 ・「再構築」については、様々な姿が考えられますが、特に「資質・能力」と深い学びに関わる姿を大切にしたいところです。総合的な学習の時間における「深い学び」の一つとして、各教科等で身に付けた資質・能力を何度も活用・発揮することが考えられます。本授業では、活用・発揮できるような学習場面を生み出すとともに、意図的な掲示物や教師の価値付けによって活用・発揮しやすい環境が整えられていました。  
 ・思考ツール(座標軸)と付箋を活用したことで、全員が視覚的に友だちと考えを比較したり関連付けたりしながら整理することができていました。今後、どのような方法で情報の整理・分析を行うかを児童自身が決定することを目標にしたいところです。  
 ・また、ICT端末を活用することで、理由や根拠となる多様な情報を共有しながら話し合い、考えを比べたり、関連付けたり、新たな考えを生み出したりすることができました。



**授業者の振り返り**

授業者が1学期の課題や成果から、2学期の授業改善へつなげていったことについて記載しています。

授業者が、取組についてまとめたシート

**「読み解く力」を高め、発揮する授業づくりのポイント**

授業づくりのポイントについて、指導助言者が解説しています。

・思考ツール(座標軸)と付箋を活用したことで、全員が視覚的に友だちと考えを比較したり関連付けたりしながら整理することができていました。今後、どのような方法で情報の整理・分析を行うかを児童自身が決定することを目標にしたいところです。  
 ・また、ICT端末を活用することで、理由や根拠となる多様な情報を共有しながら話し合い、考えを比べたり、関連付けたり、新たな考えを生み出したりすることができました。

## 校内研究推進パッケージ

今年度末に各校に配付予定



〔校内研究推進パッケージの内容〕

- パッケージⅠ（校内研究・研修編）
  - ・「読み解く力」マネジメントシート
  - ・しが「読み解く力」研修動画
  - ・「読み解く力」実践事例DVDを活用した研修プログラム
  - ・「読み解く力」の視点を踏まえた授業研究会の進め方(例)
- パッケージⅡ（授業づくり編）
  - ・単元構想シート、授業ナビシート
  - ・「読み解く力」指導案(ひな型)
  - ・「読み解く力」授業づくりガイドブック
  - ・「読み解く力」公開授業レポート
  - ・「読み解く力」授業実践事例

# 読み解く力の視点を踏まえた校内研究の推進

校内研究・・・各校の課題、目指す子どもの姿

読み解く力・・・滋賀の課題、目指す子どもの姿

## 校内研究

## 読み解く力

自ら課題を見つける

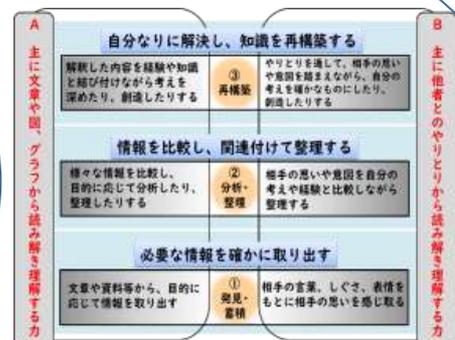
協働的に学ぶ

課題を解決することが  
できる

目的意識

Bの側面

3つの  
プロセス



共通点から「読み解く力」と校内研究の関連付けを!

# 読み解く力の視点を踏まえた校内研究の推進

## STEP1 「読み解く力」と関連付けた校内研究

- ・しが「読み解く力」研修動画（理論編）やイメージ図を使って、「読み解く力」の基本的な共通理解を図りましょう。
- ・「読み解く力」マネジメントシートを使って、読み解く力の3つのプロセス、2つの側面に照らし合わせて、自校の子どもたちの課題を明確にしましょう。
- ・目指す子どもの姿を明確にし、取組の方向性を共通理解しましょう。
- ・取組の方向性をもとに、すべての教職員で取り組む具体的な内容を検討しましょう。

### 資料

- ★しが「読み解く力」研修動画（理論編）
- ★イメージ図
- ★「読み解く力」マネジメントシート

## STEP2 「読み解く力」の視点を踏まえた授業実践

- ・「読み解く力」授業づくりガイドブックを使って、「読み解く力」の育成に重点を置いた授業づくりのポイントの理解を深めましょう。
- ・単元・授業を通して育成を目指す資質・能力を明確にしましょう。
- ・育成したい資質・能力を踏まえて、再構築した子どもの姿を具体的に想定しましょう。
- ・「単元構想シート」を使って、単元の構想を組み立てるとともに、授業ナビシートを使って、授業の展開を組み立てましょう。
- ・各プロセスで目指す姿を明確にし、実現するための工夫や手立てを考えましょう。「読み解く力」指導案を使うことも可能です。

### 資料

- ★「読み解く力」授業づくりガイドブック
- ★単元構想シート、授業ナビシート
- ★「読み解く力」指導案

# 読み解く力の視点を踏まえた校内研究の推進

## STEP3 子どもの姿で語り合う校内研究会

- ・授業を参観し、「読み解く力」を高め、発揮している子どもの姿を中心に見取りましょう。
- ・「読み解く力」の3つのプロセス、2つの側面に照らし合わせて、具体的な子どもの姿を出し合ひましょう。
- ・子どもの姿に基づいて、有効だった手立て、改善点などについて話し合ひましょう。
- ・「読み解く力」マネジメントシートを使って、校内研究・授業参観を通しての学びや、自身の実践を通じた成果と課題を整理し、実践に生かすことで、「読み解く力」を育成する授業づくりのPDCAサイクルの確立を図りましょう。
- ・研究会の進め方にはいろいろな方法があります。「読み解く力」の視点を踏まえた授業研究会の進め方や「読み解く力」実践事例DVDを活用した研修プログラムを参考にしてください。

### 資料

- ★「読み解く力」マネジメントシート
- ★「読み解く力」の視点を踏まえた授業研究会の進め方
- ★「読み解く力」実践事例DVDを活用した研修プログラム

## STEP4 次年度に向けた改善点の整理と研究の方向性の検討

- ・分析ツール等を使って、学校評価やアンケート、全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、取組についての成果と課題を明確にしましょう。
- ・「読み解く力」マネジメントシートを使って、次年度につながるように成果と課題をまとめ、必要に応じて学校全体での取組に生かしましょう。

### 資料

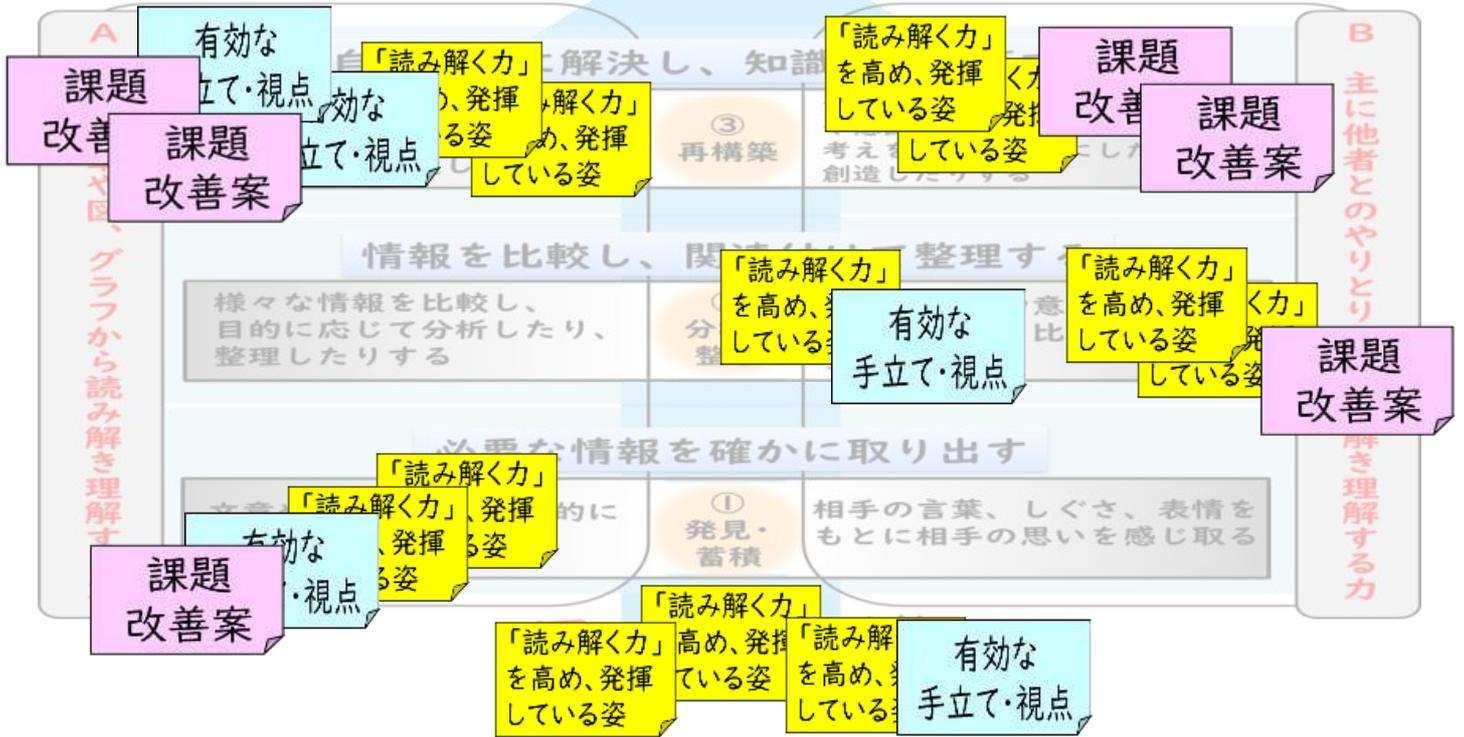
- ★分析ツール（SP表）
- ★「読み解く力」マネジメントシート

# 読み解く力の視点を踏まえた校内研究の推進

- ①学習展開に沿って、一枚ずつ説明しながら貼る。
- ②貼りながら、付箋を分類・関連付ける。



## 教科等で身に付ける資質・能力



令和3年度 滋賀県 小・中学校  
 学ぶ力向上推進リーダー  
 第2回連絡協議会

**滋賀ならでの教育  
 本校ならでの教育**

ベクトルは小さくとも、  
 向きが揃えば大きく進む

